

株式会社 **MORESCO**

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

第2四半期業績の概要

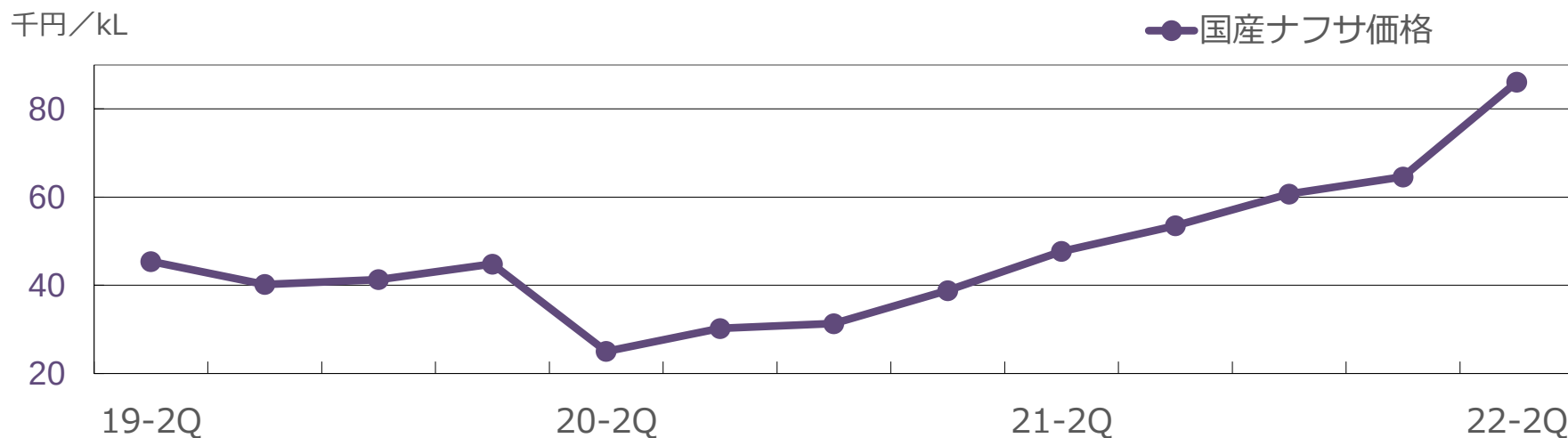
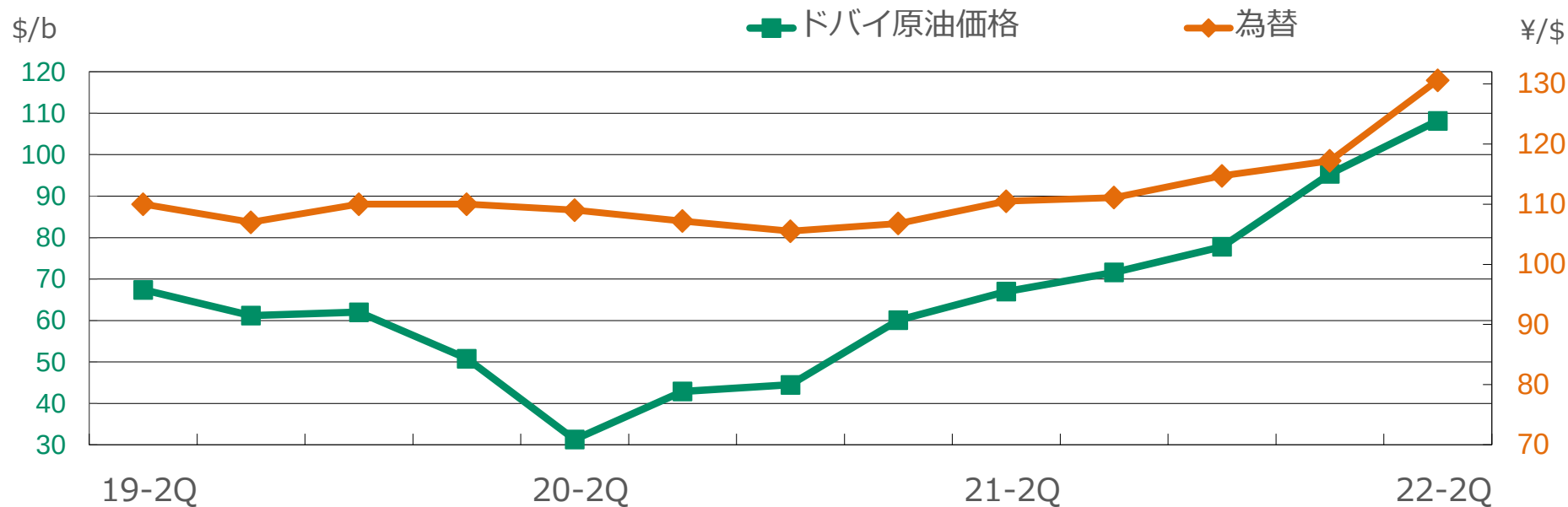
(2022年3月1日～2022年8月31日)

東証プライム 5018 (石油・石炭製品)

2022/10

当期の経営環境（１）

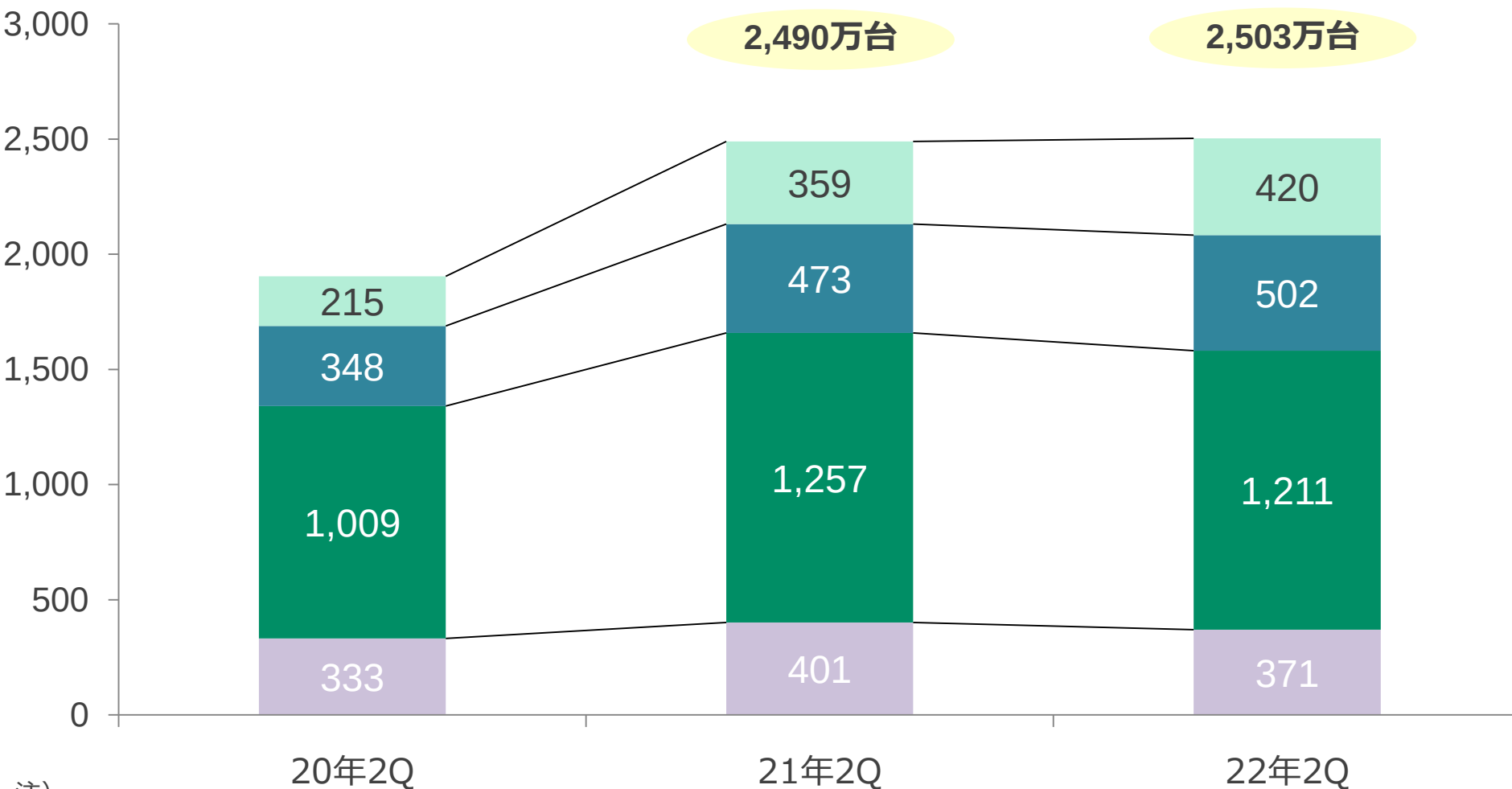
MORESCO



当社拠点所在地における自動車生産台数

出典：マークラインズ社

単位：万台



注）

①日本は３～８月で、海外は１～６月で集計

②東南/南アジアはタイ、インドネシア、インドを集計
（当社製造販売拠点所在地）

■ 東南/南アジア ■ 米国 ■ 中国 ■ 日本

- 製品販売価格是正により増収となったものの、原材料価格の更なる上昇により利益率は低下

単位：百万円

科目	21 / 2Q累計	22 / 2Q累計	前年比
売上高	13,366	14,523	+8.7%
売上総利益	4,544	4,039	△11.1%
販管費	3,621	3,744	+3.4%
営業利益	923	295	△68.0%
営業外損益	240	550	+129.4%
経常利益	1,163	846	△27.3%
特別損益	833	—	—
税引前利益	1,996	846	△57.6%
当期純利益 (※)	1,359	504	△62.9%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

部門別売上高の内訳

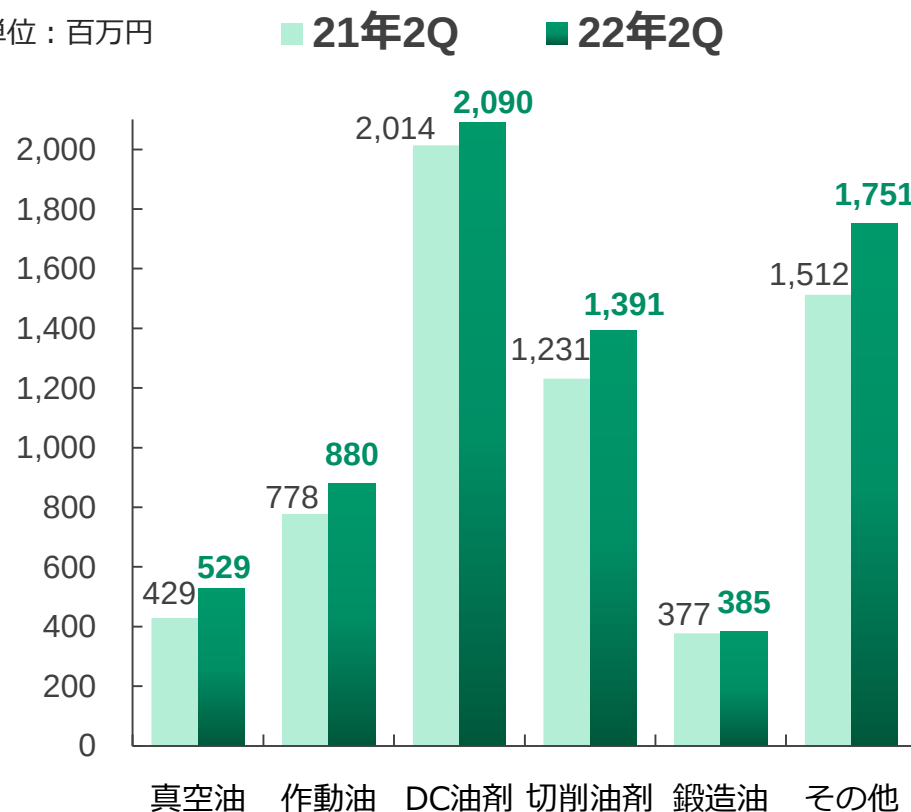
MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 2Q累計	22 / 2Q累計	前年比
特殊潤滑油部門	6,341	7,027	+10.8%
合成潤滑油部門	1,033	991	△4.1%
（うち、HD潤滑剤）	351	392	+11.4%
素材部門	1,672	1,855	+11.0%
ホットメルト接着剤部門	3,325	3,754	+12.9%
その他	987	896	△9.2%
化学品事業計	13,358	14,523	+8.7%
ビル事業	8	—	—
売上高合計	13,366	14,523	+8.7%

➤ 部門全体の売上は前年比10.8%増（7,027百万円）
数量は0.7%減

単位：百万円

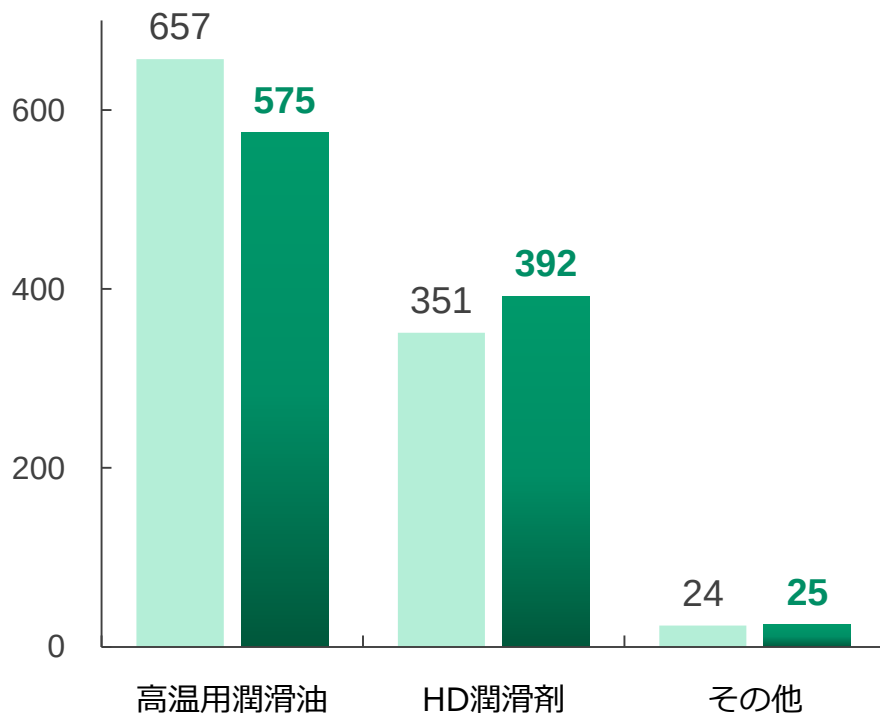


- 販売価格是正により、単価は上昇
- 数量面では、ダイカスト用油剤の減少を高真空ポンプ油の需要回復や切削油剤の新規拡販等でカバー

➤ 部門全体の売上は前年比4.1%減（991百万円）

単位：百万円

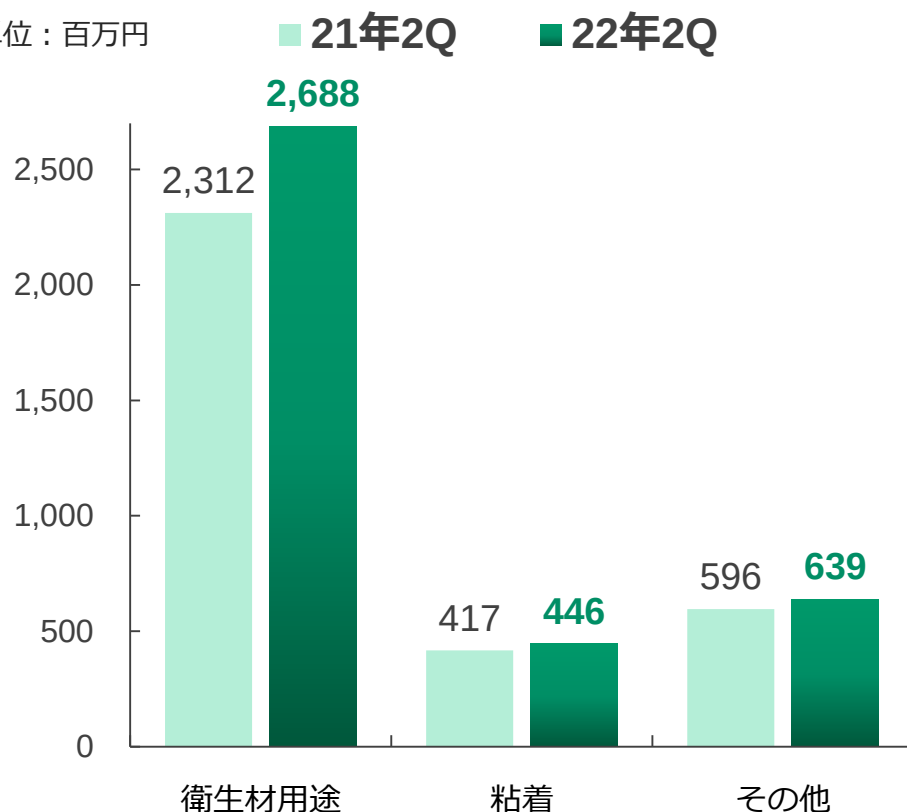
■ 21年2Q ■ 22年2Q



- 高温用潤滑油
自動車生産台数減により減収
- ハードディスク表面潤滑剤
円安の影響を受け増収

- 部門全体の売上は前年比12.9%増（3,754百万円）
数量は8.9%増

単位：百万円

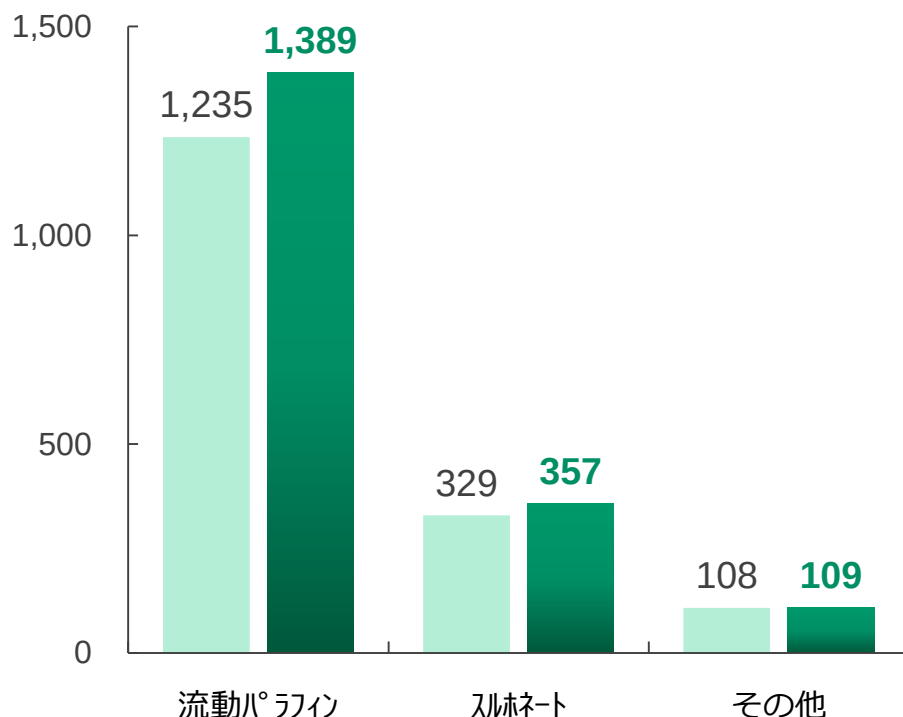


- 販売価格是正により、単価は上昇
- 衛生材用途はインド、日本、インドネシアで数量増
- 自動車関連での数量減を衛生材、粘着用途での増加がカバー

- 部門全体の売上は前年比11.0%増（1,855百万円）
数量は0.2%増

単位：百万円

■ 21年2Q ■ 22年2Q



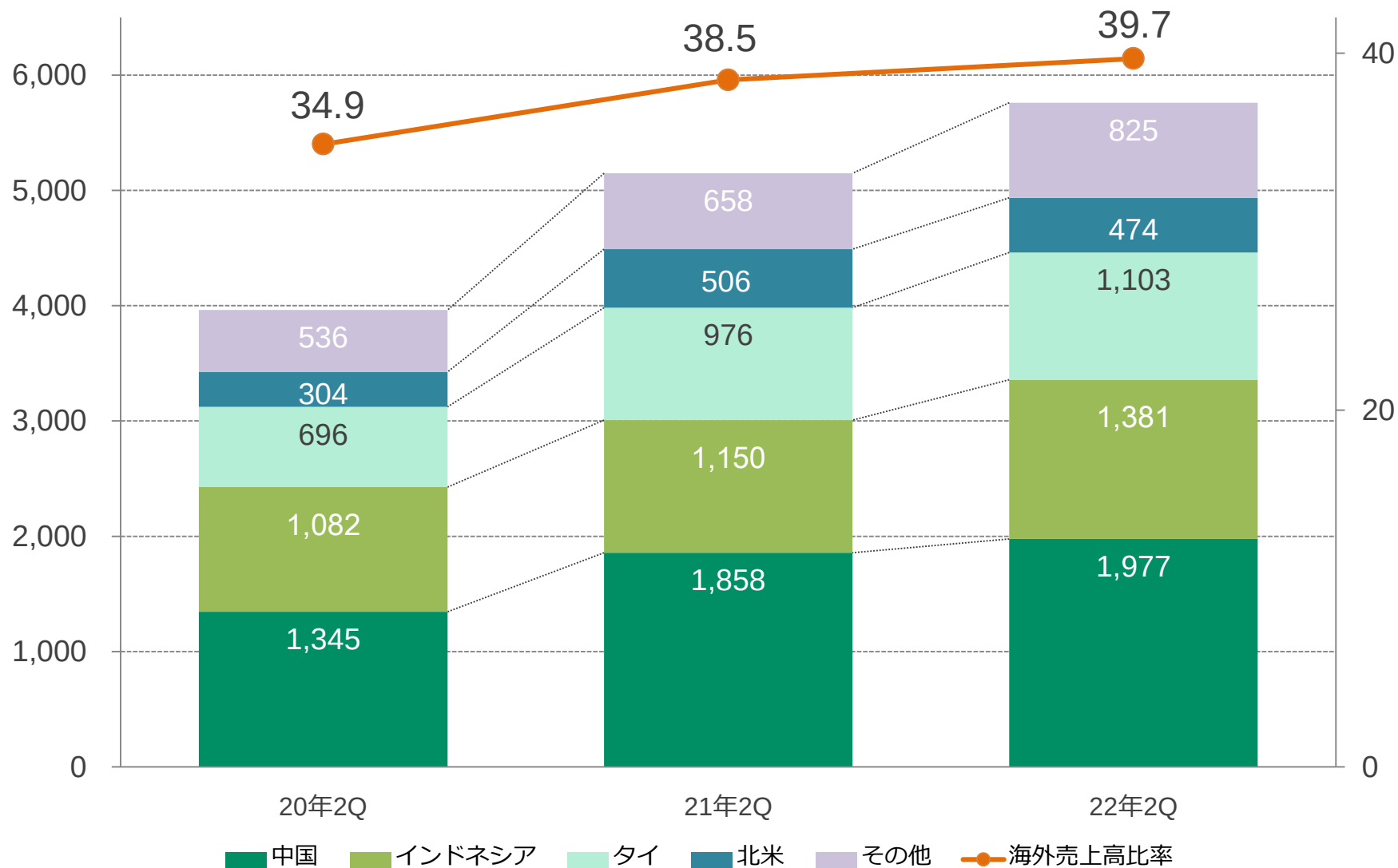
- ポリスチレン可塑剤用途での流動パラフィンの出荷が堅調
国内出荷は増加した一方で輸出が減少
- 販売価格是正により、単価は上昇

海外売上高（連結）

MORESCO

単位：百万円

単位：%



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 2Q累計	22 / 2Q累計	前年比
売上高	13,366	14,523	+8.7%
売上総利益	4,544	4,039	△11.1%
販管費	3,621	3,744	+3.4%
営業利益	923	295	△68.0%
営業外損益	240	550	+129.4%
経常利益	1,163	846	△27.3%
特別損益	833	—	—
税引前利益	1,996	846	△57.6%
当期純利益 (※)	1,359	504	△62.9%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 2Q累計	22 / 2Q累計	前年比
売上高	13,366	14,523	+8.7%
売上総利益	4,544	4,039	△11.1%
販管費	3,621	3,744	+3.4%
営業利益	923	295	△68.0%
営業外損益	240	550	+129.4%
経常利益	1,163	846	△27.3%
特別損益	833	—	—
税引前利益	1,996	846	△57.6%
当期純利益 (※)	1,359	504	△62.9%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

単位：百万円

	21 / 2Q	22 / 2Q	増減	前年比
販売費・一般管理費	3,621	3,744	+122	+3.4%
うち、研究開発費	684	635	△49	△7.1%
売上高販管費比率	27.1%	25.8%		
売上高研究開発費比率	5.1%	4.4%		

決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 2Q累計	22 / 2Q累計	前年比
売上高	13,366	14,523	+8.7%
売上総利益	4,544	4,039	△11.1%
販管費	3,621	3,744	+3.4%
営業利益	923	295	△68.0%
営業外損益	240	550	+129.4%
経常利益	1,163	846	△27.3%
特別利益	833	—	—
税引前利益	1,996	846	△57.6%
当期純利益 (※)	1,359	504	△62.9%

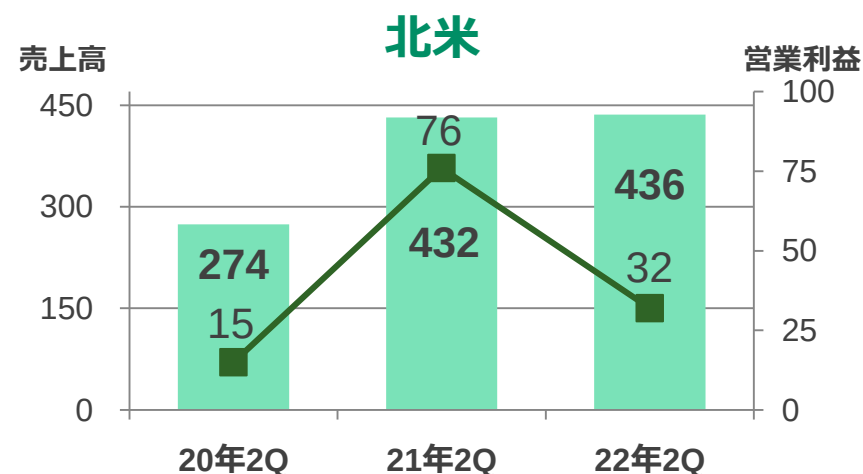
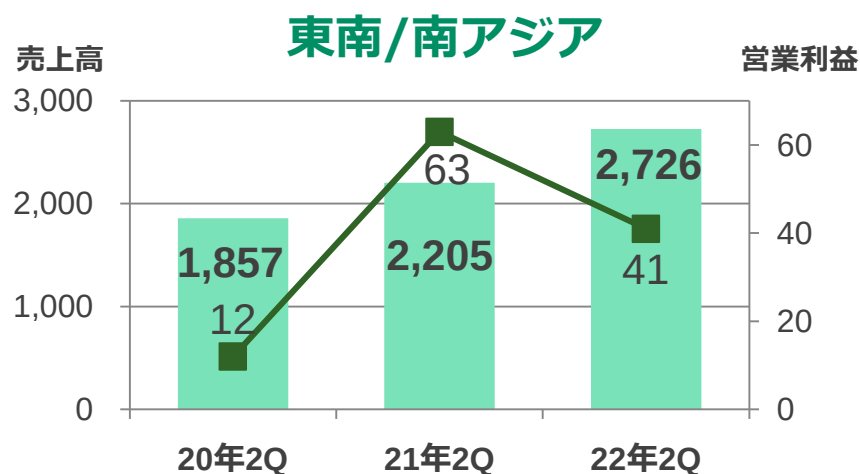
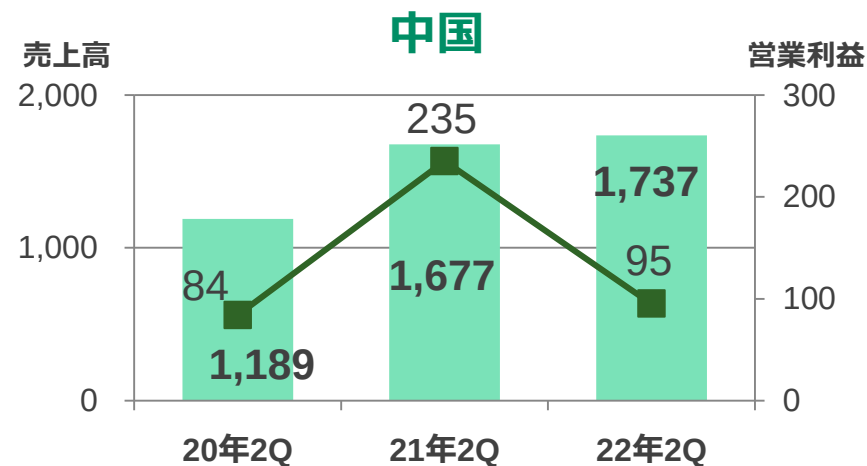
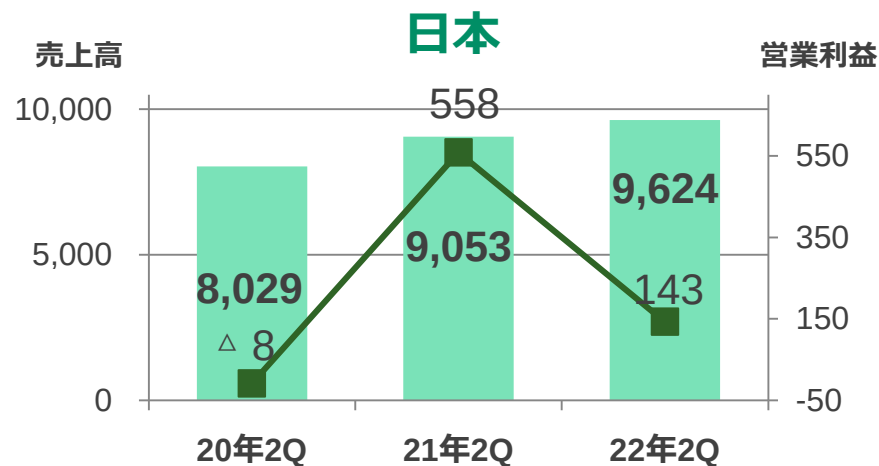
(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

地域別損益（連結）

MORESCO

■ 外部顧客への売上高 ■ 営業利益

単位：百万円



貸借対照表（連結）

MORESCO

単位：百万円

科目	22/8期末	増減	科目	22/8期末	増減
現預金	4,166	165	仕入債務	4,926	618
売上債権	7,524	680	有利子負債	1,927	1,018
棚卸資産	6,102	776	その他流動負債	1,612	△781
その他	493	58	その他固定負債	910	63
流動資産計	18,285	1678	負債合計	9,375	918
有形固定資産	8,395	91	資本金・資本剰余金	4,095	1
無形固定資産	649	16	利益剰余金	13,834	316
投資その他	3,764	298	自己株式	△567	△183
固定資産計	12,808	406	包括利益累計額	1,583	849
			非支配株主持分	2,773	183
			純資産合計	21,717	1,166
資産合計	31,092	2,084	負債・資本合計	31,092	2,084

注）増減：22/2期末との比較

単位：百万円

科目	21 / 2Q	22 / 2Q	増減
設備投資額 合計	334	284	△50
MORESCO	176	128	△48
連結子会社	158	156	△2
減価償却費	590	612	+22

単位：百万円

科目	22 / 2/末	22 / 8/末	増減
短期借入金※	560	1,546	+986
長期借入金	350	382	+32
借入金合計	910	1,927	+1,018

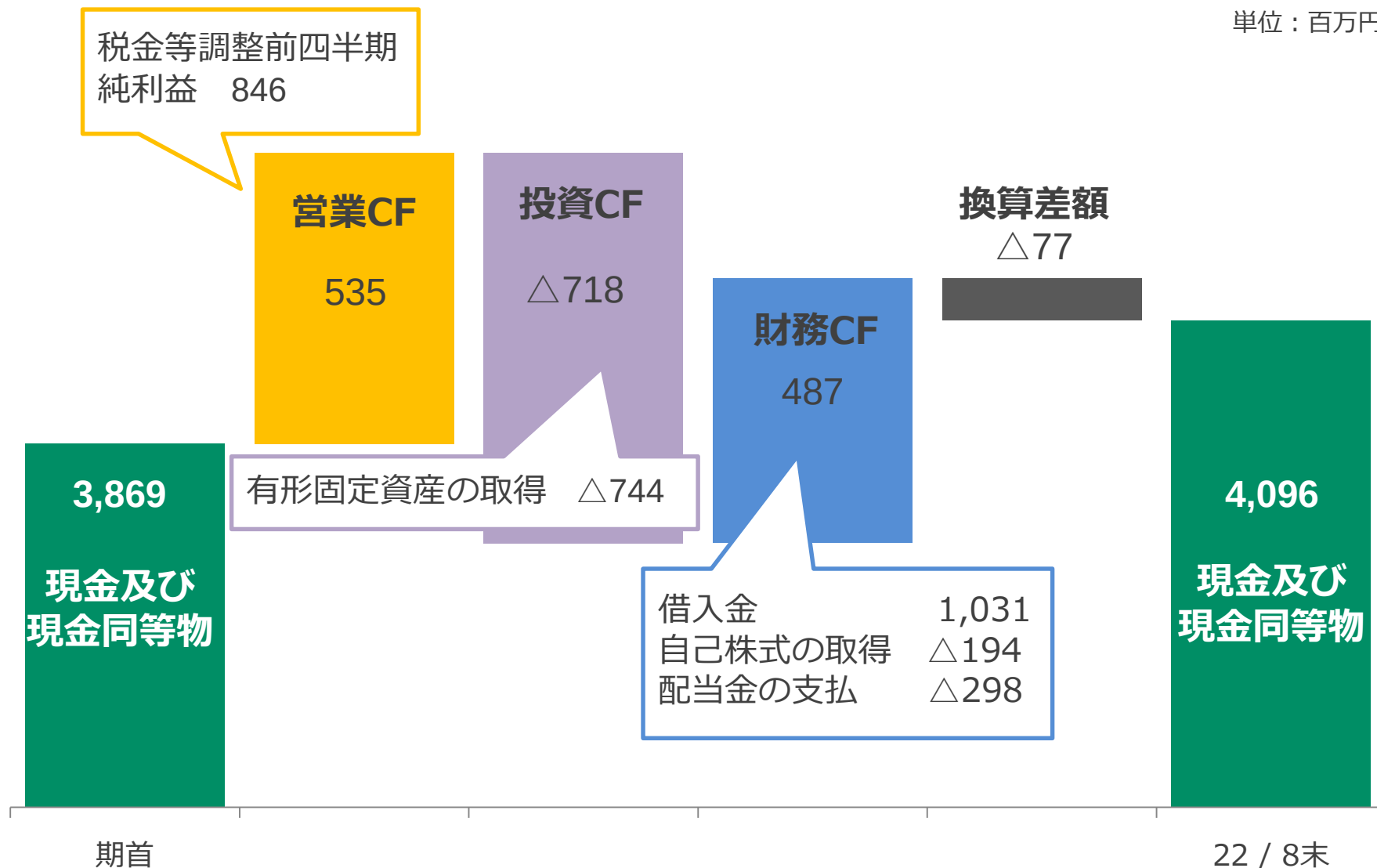
有利子負債比率	3.1%	6.2%
---------	------	------

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

キャッシュフロー（連結）

MORESCO

単位：百万円



	20 / 2Q	21 / 2Q	22 / 2Q
1株当たり当期純利益	△9.35円	144.92円	53.94円
自己資本比率	57.9%	63.6%	60.9%
売上高経常利益率	0.5%	8.7%	5.8%

(参考) 株式数 (期末)	9,697千株	9,697千株	9,697千株
(参考) 期末株主数	16,416名	16,003名	15,176名

単位：百万円

科目	22年2Q累計		22年度通期		
	実績	前年比	予想	計画比	前年比
売上高	14,523	+8.7%	31,500	+3.3%	+15.4%
営業利益	295	△68%	1,110	△40%	△23%
経常利益	846	△27%	1,700	△23%	△16%
当期純利益	504	△63%	1,000	△23%	△45%

持続可能社会の実現

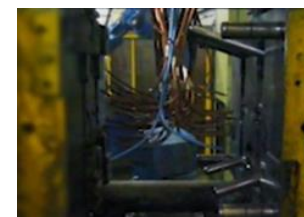
地球に 優しい 製品開発

水溶性少量
塗布型離型剤

従来品



少量塗布



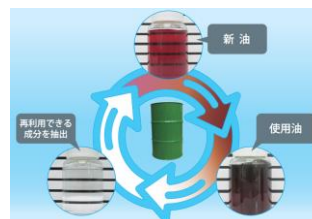
バイオマス
ホットメルト

植物由来樹脂を配合したホットメルト

品番	BM-546Z	BM-105	BM-508Z
バイオマス度	 バイオマス No.200115	 バイオマス No.200116	 バイオマス No.200114
主成分	合成ゴム	合成ゴム	合成ゴム
特長	汎用ラベル向け 強粘着・低ブリード	FDA175.125準拠 (食品直貼り可)	冷凍・冷蔵品へ 貼付け可能

リサイクル原料
潤滑油

水-グリコール系作動液

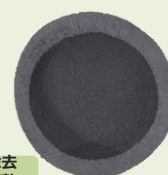


粉体離型剤

回収粉体



再利用



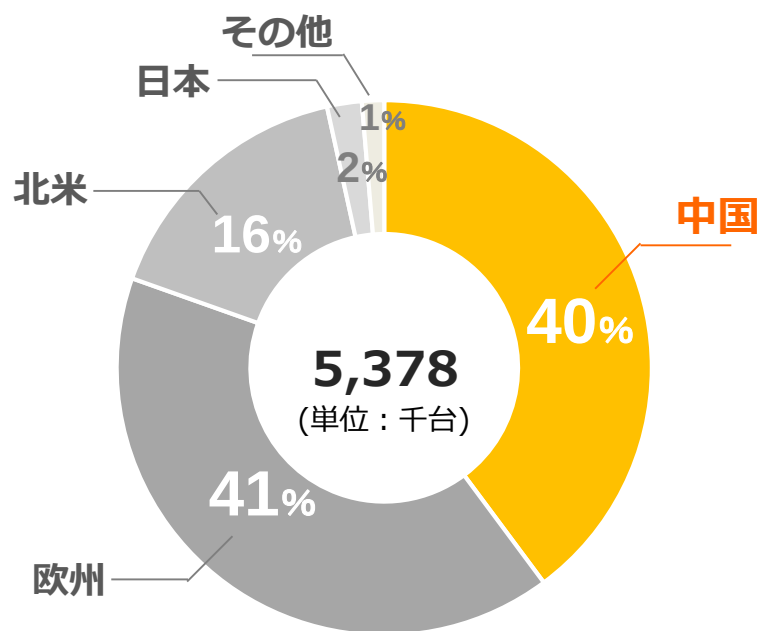
異物除去
成分調整

新エネルギー車*向けの新製品開発

MORESCO

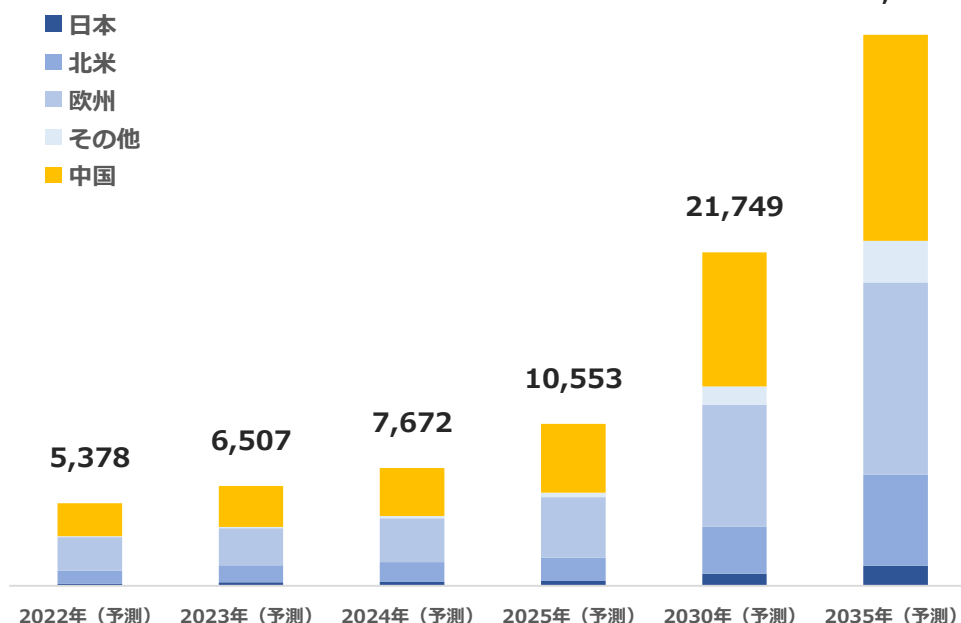
- 新エネルギー車市場を牽引する中国で軽量化部材向け新製品を開発し、グローバル展開を図る

2022年エリア別の販売数量予測



2022年～2035年販売数量推移

(単位：千台)



出典：富士経済 ワールドワイド市場長期展望（2021）に基づき自社作成

*中国政府は電気自動車（EV）とプラグインハイブリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）を新エネルギー車と区分する

OPV—都市部の太陽光発電に貢献

MORESCO

- OPVはSi系太陽電池よりペイバックタイム*を1/3まで短縮し、環境負荷低減に貢献

* 材料から制作までに生じたCO₂の回収期間

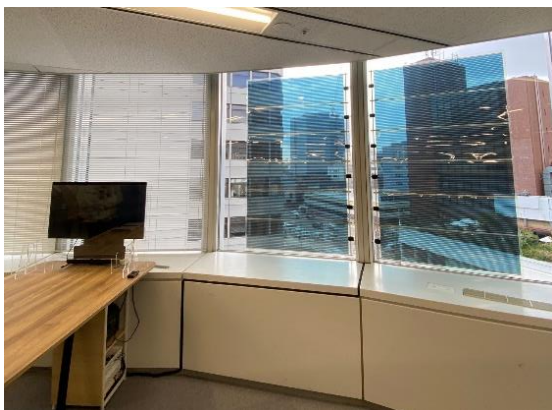
- 大学と連携し、発電効率向上の材料を開発中

CO₂ペイバックタイム（月数）

単結晶Si系太陽電池	42
OPV（発電効率5%）	13
OPV（発電効率7%）	9
OPV（発電効率10%）	6

約29ヶ月削減

Si系太陽電池と併用で都市部高層ビルの太陽光発電量を増やす



ビル中層：OPV（シースルー）
使用用途例：モニター補助電源



ビル低層：OPV（印刷）
使用用途例：電子ペーパー



耐放射線性潤滑剤で極限環境での安全をサポート **MORESCO**

世界有数加速器の 高放射線エリアで採用

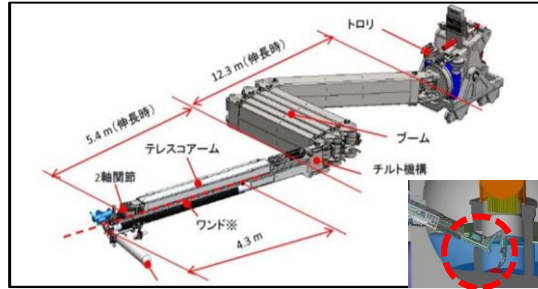


CERN : 欧・スイスと仏国境に跨る、
全長28kmの世界最長加速器



ESS : 欧・スウェーデン
世界最高ビーム強度の加速器

福島第一原発の 廃炉工程に採用

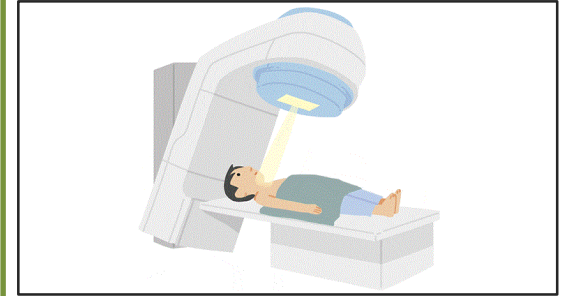


高線量下で燃料デブリを取り出す
ロボットの可動部分に使用

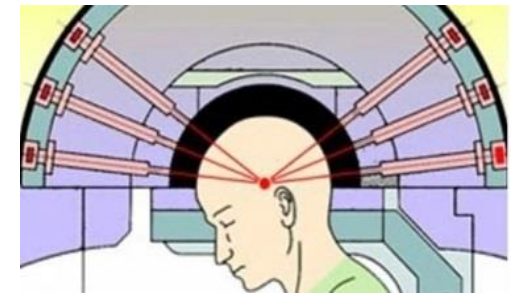


第6回福島第一廃炉国際フォーラム

先端医療の 安全稼働を支える



放射線・重量子線医療
内部可動機器一式

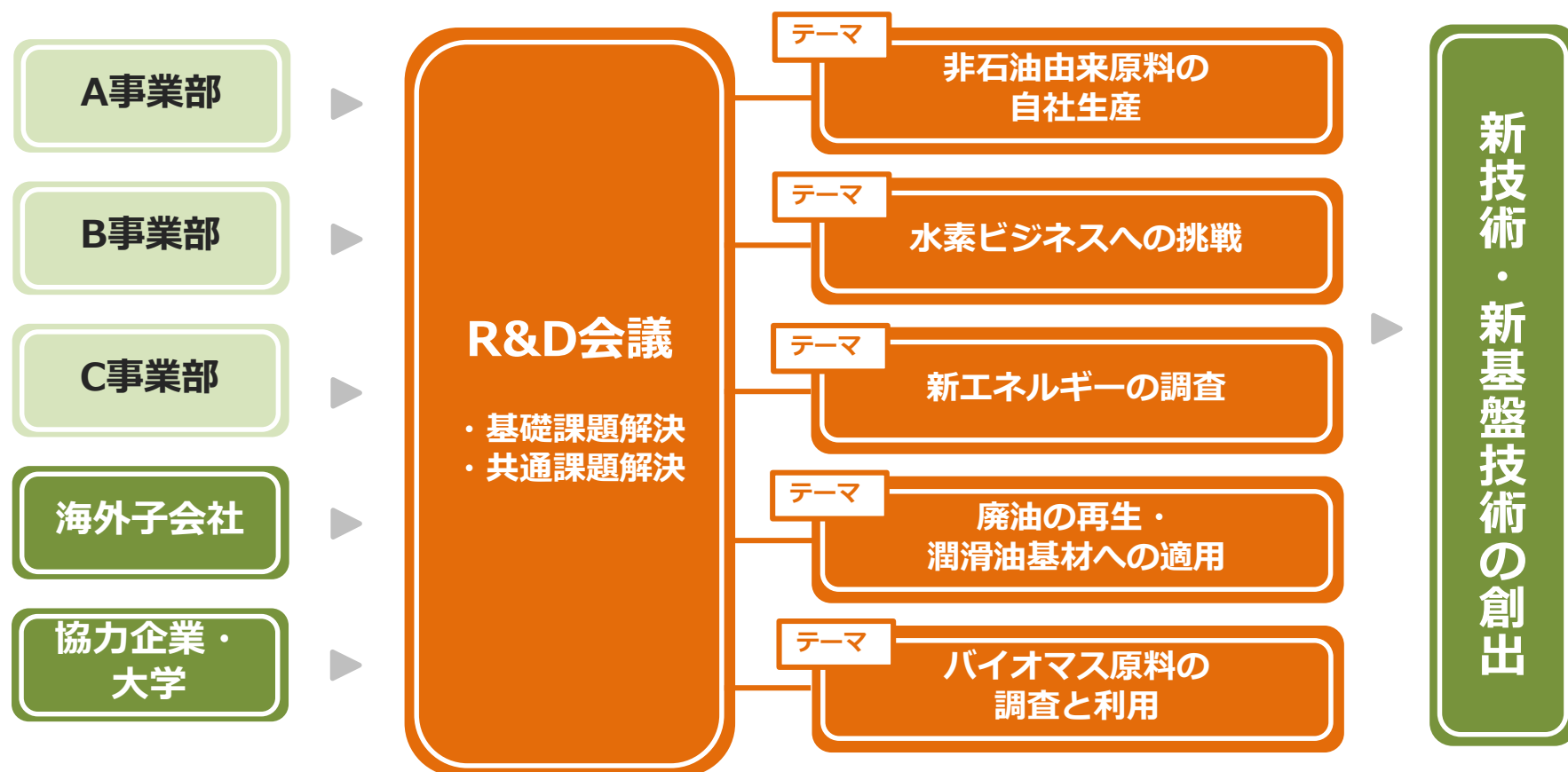


医療用放射線同位体 製造施設
内部可動機器一式

【従来】各市場でのニーズに即応できる事業部別の開発体制

+

【新設】事業部を横断し、社内間および産官学と連携した開発会議



【現状】

ガス・水蒸気透過度測定装置 MORESCO-SuperDetectの普及

性能	(既存) シングルチャン バータイプ	(新) マルチチャンバ ータイプ
試料室数 (チャンバー数)	(1チャンバー)	(4チャンバー)
測定感度	($\sim 1 \times 10^{-6}$)	($\sim 3 \times 10^{-5}$)
測定効率 (10^{-3} オーダー)	(2サンプル/4日間)	(4サンプル/4日間)
結果解析	(高度)	(簡単)
用途	研究開発	生産工程 品質管理工程
活用分野	有機デバイス	電子部品・電子機器 食品・医薬品包装

既存



新



➤ 更に水素透過度測定に特化した装置を開発中

【今後】

水素用物質開発の プラットフォームを目指す

- 各メーカー装置で正確な測定を導き出せる校正用フィルムにより、測定結果のデータベースを構築し、業界の標準化を目指す

校正用フィルム



校正用フィルムをセットした測定装置

バイオマスからの石化材料の生成

MORESCO



2030年までに自社消費エネルギーによるGHG排出量を**46%**削減（2013年対比）

サプライチェーンを含め、**2050年**までに**カーボンニュートラル**を実現

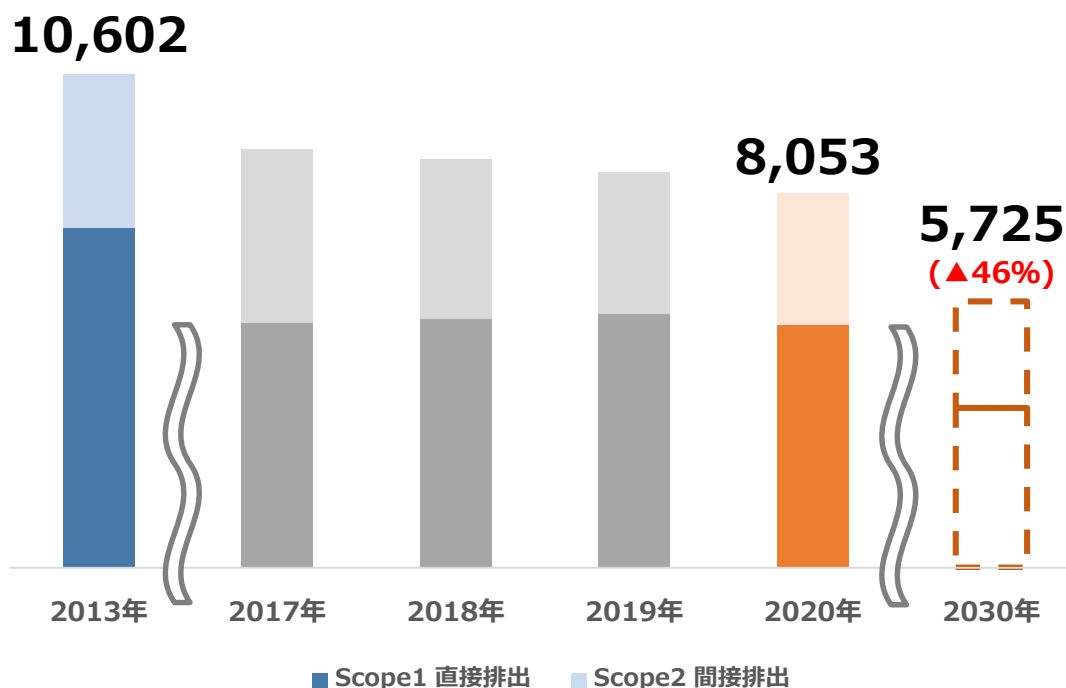
GHG排出量 **Scope 3** の目標設定を今期內公開に向けて調整中



*2022年7月公表

MORESCOグループ（国内）のGHG排出量推移

単位: t- CO₂



2020年 vs 2013年

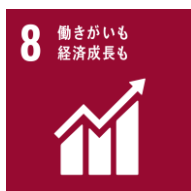
Scope 1 ▲28%

Scope 2 ▲14%

総排出量 ▲24%

健康経営優良法人(大規模法人部門)

2年連続認定

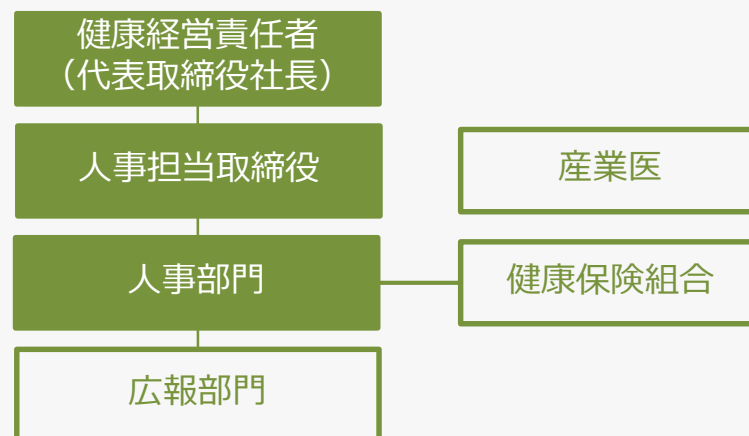


※特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度（経済産業省）

健康経営宣言

MORESCOは、従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、
「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。

体制





- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。
- 本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
- なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。